

日本ユニシスグループの働き方改革

2019年10月
日本ユニシス株式会社

Foresight in sight

UNISYS

- 社名 **日本ユニシス株式会社 Nihon Unisys, Ltd.**
- 設立 1958年（昭和33年）3月29日 **（設立61年）**
- 代表者 代表取締役社長 平岡 昭良
- 資本金 54億8,317万円
- 売上高 2,869億77百万円（連結、2018年3月期）
- 従業員数 4,190名、グループ：7,817名(2018年3月31日現在)
- グループ会社 18社
- 事業内容 クラウドやアウトソーシングなどのサービスビジネス、
コンピュータシステムやネットワークシステムの販売・賃貸、
ソフトウェアの開発・販売、各種システムサービス
- シンボルスポーツ 実業団バドミントン部



高橋・松友ペア

ビジネスエコシステムを創る中核となり
デジタルトランスフォーメーションを実現する
プラットフォームを提供する

日本ユニシスグループが価値提供する注力領域を特定し
ビジネス拡大とともに人財改革・風土改革を推し進める

日本ユニシスグループの存在意義
顧客・パートナーとともに社会を豊かにする価値を提供し
社会課題を解決する企業

自ら価値を創造し、ビジネスエコシステムをデザインする力を高めるため、イノベーション人材・経営人材育成などの人材改革と、多様な人材の活躍を促す組織改革を推進する。

Human Resource Foresight™	Workstyle Foresight®		Diversity Foresight®	Management Foresight®
<p>戦略的人事改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的資本ポートフォリオの変革 ・エントリーマネジメントの変革 ・タレントマネジメント ・ジェロントロジー時代に向けたシニア戦略化 ・健康経営の推進 	<p>働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境変革、価値観・スタイル変革、システム変革 ・労働効率を向上し、新たな価値を創出 ・多様な働き方に対応した環境の整備 	<p>組織・人材改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員エンゲージメントの向上 ・ビジネスプロデュース人材の育成 ・経営リーダー排出に向けた人材パイプラインの構築と人材育成プログラムの実施 ・若手の積極的登用 	<p>ダイバーシティ推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の採用・活用・活躍支援 ・ダイバーシティを受容する風土の醸成 ・多様な人材によるビジネスエコシステム創出 ・女性管理職比率10%達成（2020年度当社単体目標） 	<p>業務プロセス・制度改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務構造・プロセスを見直し、標準化 ・バックカスティング・マネジメントの定着 ・マネジメントとメンバーとのコミュニケーション強化(目標設定・評価制度など見直し)

日本ユニシスグループの働き方改革 Workstyle Foresight

Workstyle Foresight ビジョン

新ビジネス創出や個々人の成長に向け
個人生活も大切にしながら
豊かな発想ができるゆとりを持つために
メリハリのある健康的な働き方を目指す

Workstyle Foresightのミッション

ビジネスエコシステムの確立を支え、持続的競争優位の源泉となる人財を活かしながら

生産性30%向上

イノベーションを喚起する風土の醸成

を目的とした働き方改革を推進し、収益向上に資する

働き方改革（Workstyle Foresight）として**4つの変革**を実施

働く**環境**（時間、場所）に関する施策

働く**スタイル**（価値観）に関する施策

仕事（業務）の**プロセス**に関する施策

働く環境を支える**システム**に関する施策

環境変革

戦略的ファシリティマネジメント（拠点整理、最適化）

価値観・スタイル変革

残業メリハリ活動
在宅勤務・テレワーク
ペーパーレス
健康経営

プロセス変革

会議改革
電子承認
Foresight in sight®活動

ICTツール活用（システム変革）

クラウドファースト（Office365®利用）
モバイルファースト（mobiGate®）
Skype® for Business利用
企業内SNS活用

カテゴリ	施策
①環境変革	フリーアドレス拡大
	サテライトオフィス利用促進
②価値観・ スタイル変革	残業メリハリ・年休取得推進活動
	テレワーク拡大、テレワーク・デイズ参加
	T3活動
③プロセス変革	Foresight in sight 活動
	VPMM
④システム変革	ICT活用／インフラ整備

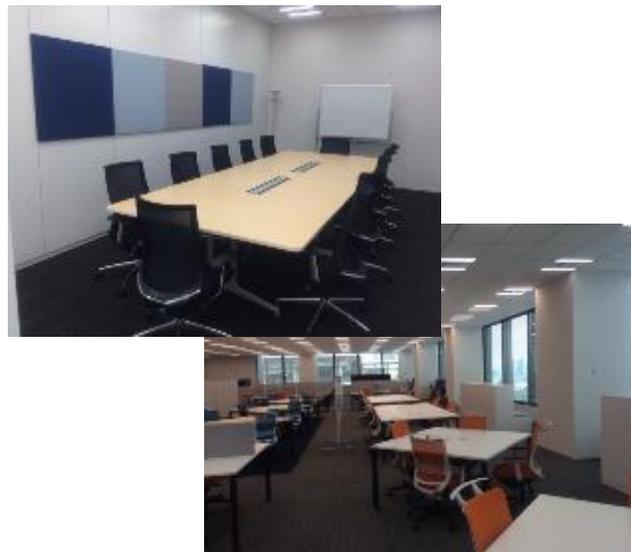
① 環境変革：フリーアドレス、サテライトオフィス

- 他拠点の集約・省スペース化とともにコミュニケーション活性化を目指しフリーアドレス化を実施
- 働き方改革・多様な働き方への対応として大手町・新宿・丸の内サテライトオフィスの利用を促進

■ フリーアドレス



■ サテライトオフィス

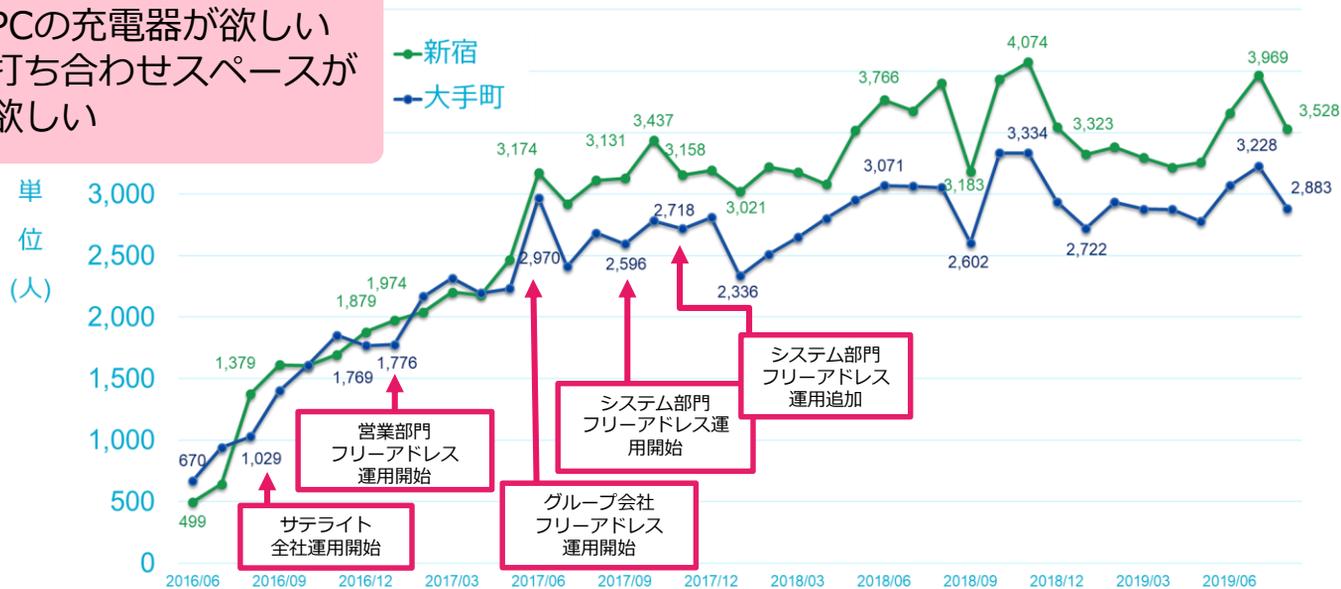


①環境変革：サテライトオフィス

- サテライトオフィスの利用者数などを毎月モニタリング。
定期的に利用者アンケートを実施し随時改善実施。

- 携帯の充電器が欲しい
- 文房具が欲しい
- PCの充電器が欲しい
- 打ち合わせスペースが欲しい

利用者数の遷移



② 価値観・スタイル変革：残業メリハリ・年休推進活動

➤ 残業メリハリ活動100%、年休取得率80%を目指す活動

	残業メリハリ	年休取得日数
全社員 年間目標	残業ゼロ（5時間以下） の月を年1回以上：100%	年休取得率：80%以上



- 年休取得奨励日の設定
- アニバーサリー休暇の実施
- 連続休暇取得の推奨
- 休暇取得予定カレンダーの運用推奨
- 勤怠報告システムでの入退館時刻とPCログオンログオフ時刻可視化

② 価値観・スタイル変革：残業メリハリ・年休推進活動

【目標】 残業時間ゼロの月を年間で1ヶ月以上達成

**時間の使い方（意識）と
 業務（仕組み）を見直し、考える機会とする**

残業ゼロにチャレンジしながら、自己啓発、社外ネットワーク拡大社会貢献活動などにもチャレンジ

特定の人/チーム/組織の残業が多い、残業が定常化している、などの状況認識



リソース配分の見直し、会議改革、Skype会議の利用、品質向上、知財活用、組織をまたがる業務の調整など対応

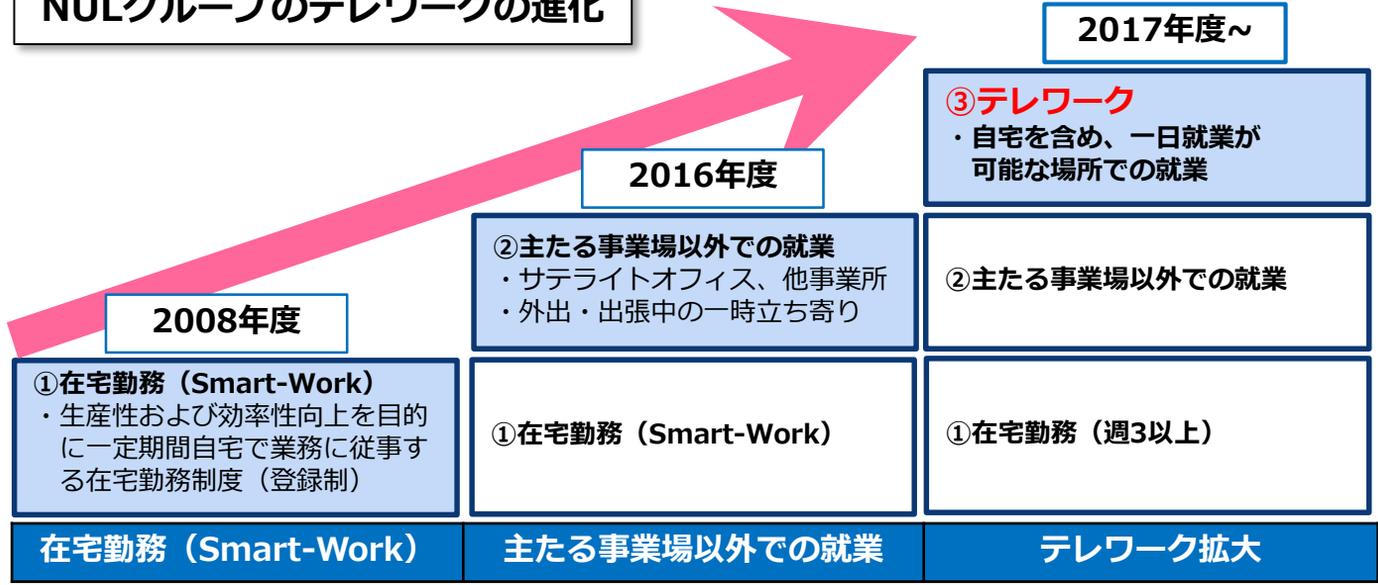
会議が多い、トラブルや緊急対応が多い、移動/出張が多いなど分析

② 価値観・スタイル変革：テレワーク拡大

- 2017年より全社員対象の「③テレワーク」を開始
- 場所や時間を有効活用する柔軟な働き方の促進を目指す



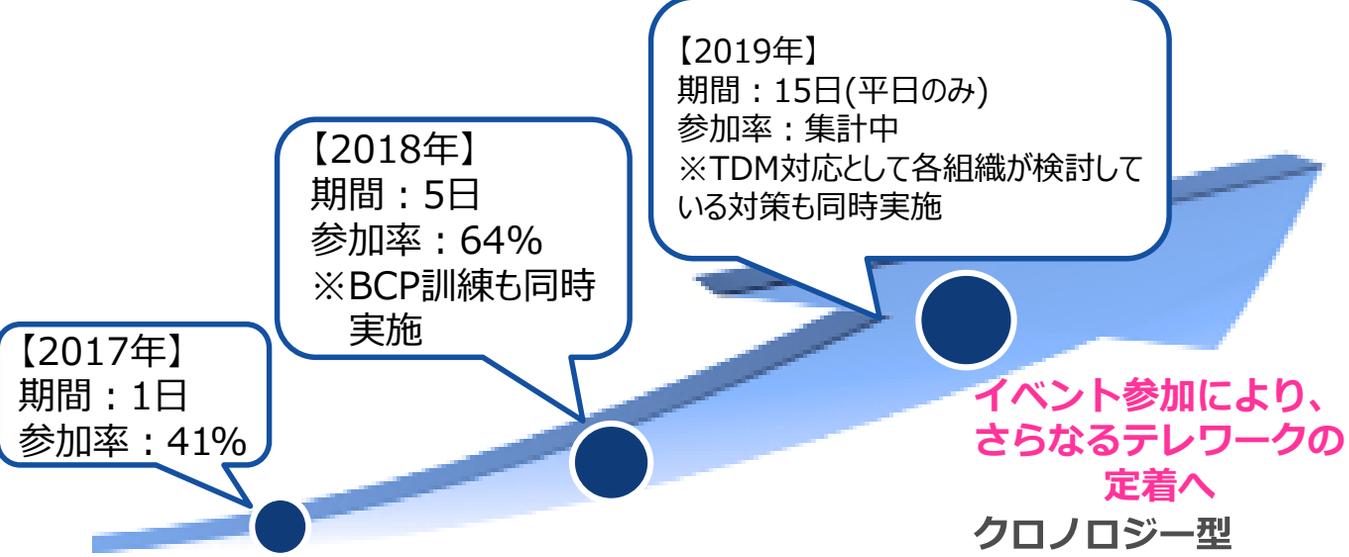
NULグループのテレワークの進化



※総務大臣賞：総務省がテレワーク先駆者百選として公表した企業等の中から、他社が模範とすべき優れた取組を行っている企業等に授与

② 価値観・スタイル変革：テレワーク・デイズ参加

▶ 日本ユニシス・グループのテレワーク・デイズ参加方針



イベント参加により、さらなるテレワークの定着へ

クロノロジー型
 危機管理情報共有システム
 「災害ネット」

■ 情報共有掲示板を活用した実証実験



写真出典：“災害写真データベース”，一般財団法人消防防災科学センター

種別	品名	申請日	内容	届出	届出日	届出先	届出先住所	届出先電話番号	届出先メールアドレス	届出先担当者	届出先部署	届出先役職	届出先所属	届出先業種	届出先業態	届出先業種業態	届出先業種業態	届出先業種業態	届出先業種業態	
...

② 価値観・スタイル変革：テレワーク・デイズ参加

- 7/24の集中テレワーク日での参加率 76%
- 集中テレワーク以外での平均参加率 49%
- グループ会社7社が参加
- 新人研修をテレワークで実施(7/22~26)
- 2020年オリンピック・パラリンピックに向けて各組織がTDMへの対策を試行
- 災害ネットを活用した情報共有の実験



行列が無いエレベータホール



ひっそりとした執務室

② 価値観・スタイル変革：テレワーク・デイズ参加

▶ テレワークで新人研修を実施（テレワークサポーター*利用）



勤務状態・タスク実施状態を参照可

パソコン上のWebカメラから常時本人認証・
 スクリーンショットのログを常時保存

*テレワークサポーター®は、日本ユニシスが提供するConnected Work™のソリューションのひとつです。

<https://www.unisys.co.jp/solution/biz/connectedwork/>

遠隔地で働く従業員の勤務時間や情報漏洩リスクに関する課題解決のためのクラウドサービスです。
 パソコン上のWebカメラから常時本人認証することで、勤務時間のログを保存し、勤務者以外の「のぞき込み」や「なりすまし」などの情報漏洩リスクを抑止します。

④システム変革：Office 365 活用

➤ Office 365 をグループ会社を含めて活用

Exchange Online

- メールの一元管理
- スケジュール調整
- 会議室予約（全社）

SharePoint Online

- プロジェクト内情報共有
- 社外とコラボレーション

Skype for Business

- チャットによる即時コミュニケーション
- 拠点間の音声/ビデオ会議による出張削減

Yammer Enterprise

- 社員間リレーション強化
- 社内IT ヘルプデスク
- 組織コミュニケーション

OneDrive for Business

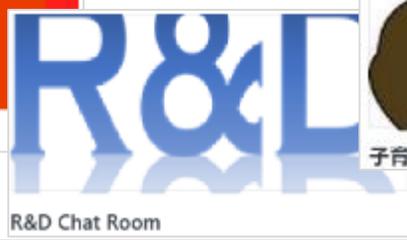
- 個人PCデータのバックアップ
- 簡易ファイル共有

Microsoft Teams

- 組織やプロジェクトでのディスカッションルーム
- 拠点間の音声/ビデオ会議による出張削減

④システム変革：ビデオ会議、社内SNS

- Skype for Business／Teamsなどのビデオ会議活用により、コミュニケーションの促進／生産性の向上を図る
- 勤怠報告システムでのPCログオンログオフ見える化による長時間労働防止
- 社内SNS（Yammer）活用による社員同士の対話の場



④システム変革：RPA、ちゃちゃっと案内

➤情報システム部門主導で、社内にRPAを展開

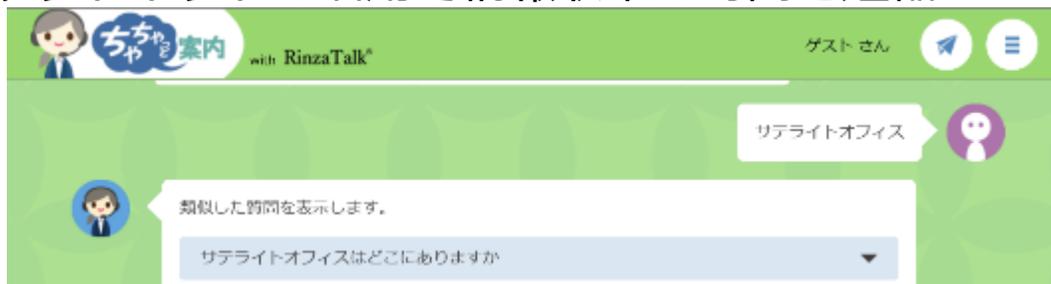
RPA (Robotic Process Automation)

生産性向上、業務効率化をもたらすソフトウェアロボットによる業務の代行

➔操作・作業を自動化する技術

- ✓ 例：「契約代行分請求書発行のための請求データ入力」をRPA化することで仕事量は約30分の1に

➤知的エージェントサービス「RinzaTalk® (リンザトーク)」 を社内向けサービスとして提供 チャットボットの活用で情報収集の時間を短縮



- 日本ユニシスグループの企業価値向上の原動力となる、強い「組織力」の醸成を目的として、組織における自律的エンゲージメント向上を推進する「エンゲージメント・マネジメント施策」を実施

企業価値向上の原動力となる強い「組織力」

組織における自律的なエンゲージメント向上
～エンゲージメント向上を通じた“ありたい姿”の実現～

ありたい姿
(To Be)



職場の一体感
理念戦略への共感
仕事のやりがい

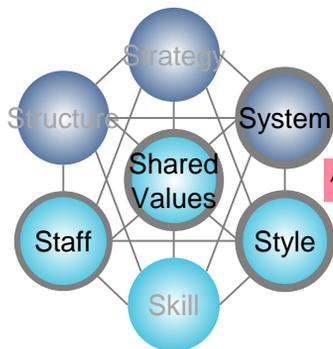


現状
(As Is)

期待・満足度



➤ 社員相互に“感謝やリスペクトを見える化”

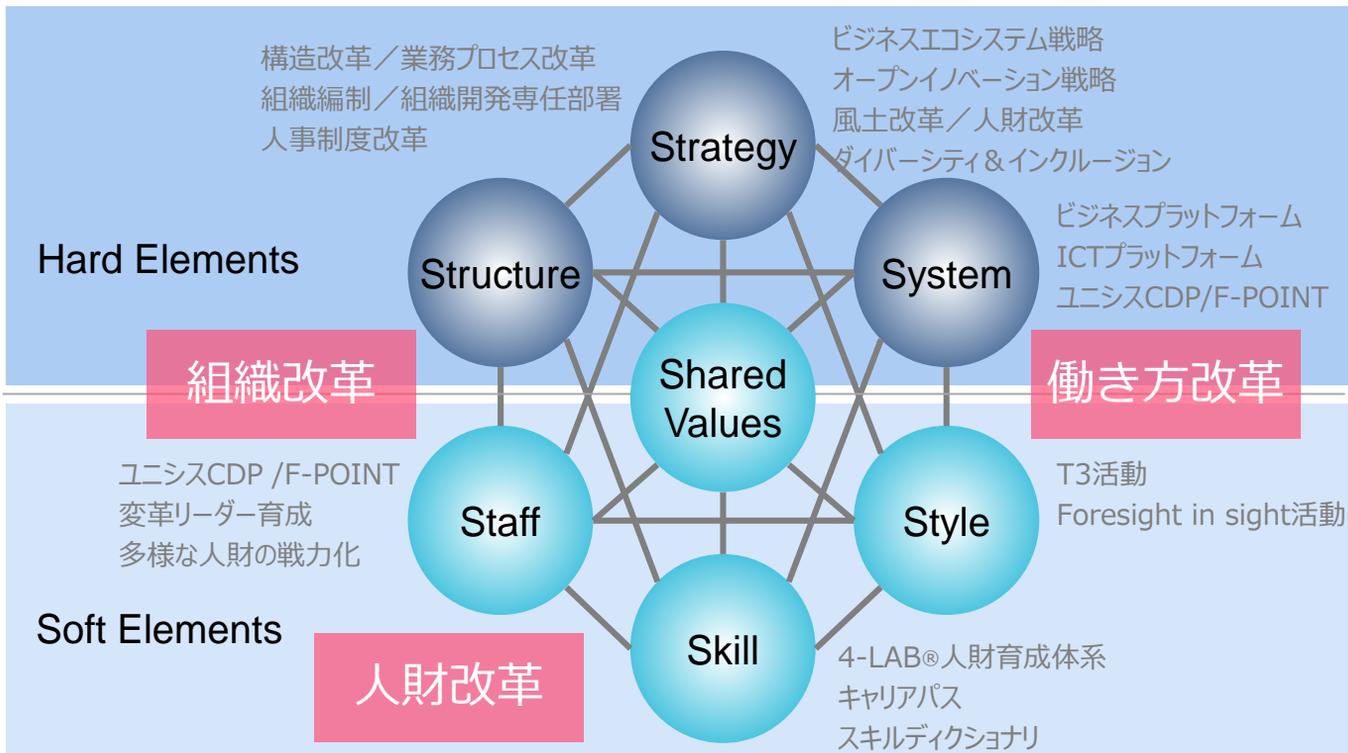


働き方改革



感謝したい相手に“感謝の気持ち”を贈る

- 会社と社員の双方がより強固な信頼関係を築きながら成長し続ける





生産性向上

36%

Human Resource
Foresight™

戦略人事改革

Workstyle Foresight®

働き方改革
組織・人財改革

Diversity Foresight®

ダイバーシティ推進

Management
Foresight®

業務プロセス・制度改革



なんのため？を共有
ファーストペンギン
見える化



ご清聴ありがとうございました

Foresight in sight

UNISYS